

ひし餅・甘酒・ちらし寿司。ひな祭りでなぜ食べる？

女の子の健やかな成長を祈るひな祭り。すでにひな人形をお部屋に飾って、パツと華やいだ雰囲気を楽しんでいるご家庭も多いことでしょう。近ごろは住宅事情や好みの変化で、七段飾りよりも親王飾り（お殿様とお姫さまのペア）が人気だそうですが、ひな人形に込める親心は今も昔も変わりません。そして、「花より団子」というわけではありませんがひな人形と同じくらい楽しみなのが、ひな祭りならではの行事食です。いろいろな食べ物が思い浮かびますが、知っているようで知らないのがその由来です。



まずは、ひな人形と一緒に飾る三色の「ひし餅」。もともとは厄除け効果があるとされるヨモギ餅で、緑一色だったとか。江戸時代になってから清浄を意味する白い餅が加わり、明治時代に魔除けを意味する桃色の餅が加わったと言われています。上から桃色・白・緑の順に重ねられ、「雪の下に新芽が芽吹いて桃の花が咲く」という春らしい情景が表現されています。

「ひなあられ」も色鮮やかで春らしい風情のあるお菓子。かつて、女の子たちがひな人形を持って野山に出かけ、ひな人形に春の景色を見せてあげる「ひなの国見せ」という、まるでピクニックのような風習があったのだそう。その際にごちそうと一緒に持っていったのが始まりだそうです。

他にも「白酒」や「甘酒」は長寿を、「はまぐりのお吸い物」は良縁を象徴するものとしてひな祭りの食卓を彩ってきました。ちらし寿司はひな祭りらしい由来があるわけではありませんが、縁起のいい具材を豊富に使うことから定番メニューとなっていったようです。

由来を知ればめでたさもひとしお。おなかも心も満たされそうですね。

ひし餅

上から「桃色＝魔除け」「白＝清浄・純潔」「緑＝健康・新緑の生命力」を意味する。

ひなあられ

昔、ひな人形に春の景色を見せる「ひなの国見せ」という風習があり、その際にごちそうと一緒に持っていったのが始まり。

白酒・甘酒

清酒に桃の花をひたした「桃花酒（とうかしゅ）」を飲んだのが始まり。桃は「百歳（ももとせ）＝長寿」に通じる。

はまぐりのお吸い物

はまぐりが二枚貝であることから「夫婦和合」の象徴とされている。将来、良い伴侶とめぐりあえるようにという願いを込めて。

ちらし寿司

「えび＝長寿」「れんこん＝見通しがきく」「豆＝健康でまめに働ける」など縁起のいい具材を使うことから、お祝い事での定番メニューに。

新商品情報

使いやすいシンプル＆コンパクトボディ



(K)ブラック



(W)ミルキーホワイト
RC-5AMX
2026年2月発売商品

ふっくら炊き上げ「本かまど」コース

3通りの炊き分けから、好みや料理に合わせて食感が選べます。の良いごはんに。



選べて便利な炊飯コース

急いでいる時に便利な早炊きや味がしみ込んだ炊込みごはん、からだにうれしい雑穀米などの便利なコースを搭載



冷凍ごはんコース

炊き立てもあたためなおしてもおいしく
まとめ炊きにぴったり



17mm
釜底厚さ

釜底厚さ厚みが増すほどに、
しっかりと熱を蓄えます。

外面
銅色
コート釜

外面／銅色コート
銅色のコーティングを内釜の外面に
施しています

【予約メモリー】一度セットした予約時刻を記憶します。
【食感炊き分け】お好みの食感が選べます。
【調理コース】ケーキ、ゆで卵など手軽に調理ができます。
【共通機能】●自動保温 ●予約（炊き上がり時刻）●くっきり水位線
●つゆ防止保温ダブルヒーター（ふたヒーターと胴ヒーターで、保温中に内ふたや内釜に付くつゆを防ぎます